

～日本郵船株式会社と傭船契約を結ぶ木材チップ船「DAIO AUSTRAL」～ 愛知ーベトナム間にてバイオディーゼル燃料試験航行を実施

大王製紙株式会社（住所：東京都千代田区）は、日本郵船株式会社（住所：東京都千代田区）と傭船契約を結ぶ木材チップ船「DAIO AUSTRAL（ダイオー・アウストラ）^{*1}」（以下 本船）にバイオディーゼル燃料^{*2}（以下 バイオ燃料）を補油し、愛知県の衣浦港からベトナムのカイラン港までの試験運行を実施しました。なお、今回使用したバイオ燃料は豊田通商マリンフューエル株式会社（住所：東京都港区）より供給を受け、航行中の主機・発電機の動作検証等を行いました。

大王グループはサプライチェーン全体での CO₂ 削減について、調達先及び燃料供給先と協働で取り組むことで、2050年のカーボンニュートラル実現を目指してまいります。



バイオ燃料補油の様子

バイオ燃料は、廃食油などの生物由来の有機性資源（バイオマス）を原料としており、燃焼時の二酸化炭素（CO₂）排出量は実質ゼロとみなされます^{*3}。重油焚き船舶エンジンでも使用可能なため、重油からゼロエミッション燃料への過渡期で温室効果ガス（GHG）の排出を削減する有力な手段とされています。

* 1. 「DAIO AUSTRAL（ダイオー・アウストラ）」概要

全長	210メートル
全幅	36.5メートル
総トン数	49,035トン
載貨重量トン数	60,575トン
建造年	2009年
造船所	株式会社大島造船所（長崎県西海市）

* 2. バイオディーゼル燃料（バイオ燃料）

植物油脂のメチルエステル化によって精製され、石油由来の重油や軽油の代替燃料として期待されています。

*** 3. バイオ燃料燃焼時の二酸化炭素（CO₂）排出量実質ゼロについて**

バイオ燃料は燃焼時に二酸化炭素（CO₂）を排出するものの、原料となる植物は CO₂ を吸収しバイオマスを再生産するため、直接燃焼における CO₂ 排出量は実質ゼロとみなされることから、「カーボンニュートラル」を実現する化石燃料の代替物として注目されています。

【本リリースに関する問い合わせ先】

大王製紙株式会社資源部海外資源課 藤村 TEL : 03-6856-7522

※報道機関の方は、下記までお問い合わせください

大王製紙株式会社 総務部広報課 北野、ウーデン TEL : 03- 6856-7501